令和７年度「国際アーカイブズの日」記念公開講演会

戦争の記録をいかに伝えるか
―戦後 80 年目の課題―



2025 年 6 月 20 日（金）
13 時 30 分～ 15 時

講師　駒澤大学教授
加藤（かとう）　聖文（きよふみ）　氏

国文学研究資料館准教授を経て、現職。
専門は日本近現代史、東アジア国際関係史、歴史記録学（アーカイブズ学）。近年は海外引揚を中心に研究している。
主な著書に『海外引揚の研究－忘却された「大日本帝国」』（岩波書店、2020）、『戦後日本のアジア外交』（ミネルヴァ書房、2015、共著）がある。

資料画像：
「大東亜戦争 米英海軍撃滅記念帖」（日本手帳株式会社、1942）
埼玉県立文書館所蔵、黒田（小）家文書 5176
「貯蓄報国 生活費三割切下の提唱」（佐藤新興生活館、1938）
埼玉県立文書館所蔵、古沢家文書 556

講演概要

本講演会は、国際公文書館会議（ICA）が、世界中のアーカイブズの大切さを伝えるため、2008 年に 6 月 9 日を「国際アーカイブズの日」として制定したことを記念して、歴史的公文書や古文書などの記録史料（＝アーカイブズ）の大切さを広く会員ならびに県民の皆様に知って頂くために開催するものです。

今年は、戦後 80 年を迎える節目の年です。戦争を知らない世代が増えるなか、戦争の記録をいかに収集・保存し、いかに次世代へ伝えていくべきかが大きな課題となっています。本講演会では、戦争アーカイブズの現状と課題についてお話しいただきます。

本講演会にはお申し込みが必要です。以下の参加方法をよく読んで御応募ください。

会　　場	埼玉県立文書館　3 階　講座室（さいたま市浦和区高砂 4-3-18）
定　　員	80 名（埼史協会員 30 名、一般県民の方々 50 名）
参 加 費	無料
申込期間	2025 年 5 月 13 日（火）～ 6 月 6 日（金）
一般の方の申込	［①氏名、②電話番号］を御記入の上、下記メールアドレスにメールしてください。 その際の件名は［「国際アーカイブズの日」記念講演会申込］としてください。

申込メールアドレス　p6501123@pref.saitama.lg.jp

※申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。
参加の可否はお申し込みいただいたメールアドレスに 6 月 13 日（金）までにお送りします。

講演に関する詳しいお問合せは
埼玉県立文書館内　埼史協事務局
（TEL048-865-0112）まで

主催：埼玉県地域史料保存活用連絡協議会
共催：埼玉県立文書館
後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会